

学校だより 10月号

地域と連携し、「今を精いっぱい
生きる」生徒を育む学校

狭山市立柏原中学校
TEL 2954-5073

◎東日本大震災被災者の皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

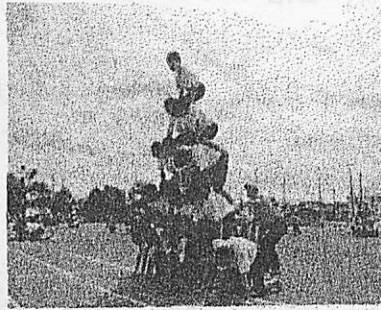
◎皆さまの安全と一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

頑張る姿は美しく、感動を与える！

校長 田中茂樹

今年の体育祭は、「頑張る姿は美しく、見ているものに感動を与える」この言葉がぴったりのものでした。保護者の皆様、地域の皆様には早朝より、ご多用の中、ご参観いただきありがとうございます。今年は9月に入り残暑が厳しく、熱中症に対する心配をしながら練習に励んできました。

今年も赤、青、桃の3団に全校生徒が分かれ、熱戦を繰り広げました。3つの団は、団長・副団長を中心に夏休みに集まり、応援合戦(団長ばんざい)の内容を考え、下級生を引っ張り当日を迎えました。



競技に臨む生徒一人ひとりの表情を見ると、普段通りの頑張りを見せる生徒、普段は素直に表現できない生徒も頑張る子に触発され、もともと持っている能力を発揮している姿も見ることができました。

また、集団競技では、グループダイナミックスと言われる集団の持つ力が、個々人の能力を引き出している姿も多々見られました。実を言うと前日まで3年生のピラミッドは一度も成功していませんでした。ここというところで力を発揮した3年生、伝統を引き継いでくれました。女子のダンスも回数を重ねるごとに演技が大きく、リズミカルに、そして優雅になり本番ではこれまでにない演技を披露してくれました。

閉会式では成績発表を聞くと同時に、思わず泣き出す女子が数名いました。それだけ自分たちの優勝を信じていたのでしょう。私もその思いに共感し、一呼吸置いてから講評する始末でした。本当に頑張る姿は美しく、感動を与えてくれた体育祭でした。

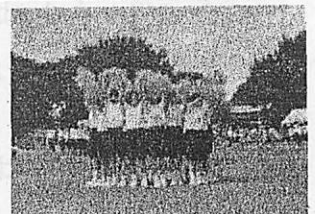
おめでとうございます

9月27日(水)に狭山市英語弁論暗唱大会が、教育センターで開かれました。本校からは、2年生の高見澤 美貴さん、3年生の石川 愛さん、平野 里奈さんが参加しました。その中で、弁論の部で石川 愛さんが第1位に輝きました。おめでとうございます。高見澤 美貴さん、平野 里奈さん、ご苦労様でした。(裏へ)

10月の主な行事予定

- 1(土) 新人戦
- 2(日) 柏原ふれあい体育祭【柏原小】
- 3(月) 土曜寺子屋 8:50~11:00
- 4(火) 学校朝会
- 7(金) 集金日
- 8(土) 土曜授業日、あいさつ運動
第2回学校評議員会
- 10(月) 体育の日
- 12(水) 陸上県大会
- 13(木) 中間テスト・陸上県大会
- 14(金) 中間テスト
柏原小・中学校バザー準備
「地域の集い」【市民会館】
- 15(土) 柏原小・中学校バザー
入間地区科学展【飯能加治小】
- 18(火) 学年朝会
- 19(水) 4市テスト【3年生】
- 20(木) 第2回進路説明会(5, 6限)
- 21(金) 生徒会専門委員会
- 22(土) 柏原まつり【公民館・JA】
青年会議所主催講演会【本校】
- 25(火) 生徒朝会、音楽会リハーサル
【5限:2年】【6限:1年】
- 28(金) 音楽会リハーサル【5限:3年】
【放課後:全校】
- 29(土) 市内駅伝大会
土曜寺子屋 8:50~11:00
- 31(月)
 - 1(火) 音楽会・弁論大会【市民会館】

※予定でするので変更になる場合があります
ので、ご了承ください。



おまけ

ある酒席で「おまけ」という言葉を久々に聞いた。次の日、学校で辞書を引いてみた。なんと、「御負け」とあった。意味は、①値引きしたり、品物を添えたりすること。また、その品。②その上に何か付け加えること。「一の話」、とあった。「負け」なんだあ。この字をあてるんだ。みんな知っているんだろうな。ちょっと恥ずかしい。このままにして、知っていたことにしようと思ったが、どうも「負け」が気になる。そのままにしておけばいいのに、私も好事家（ものずきのこと）。また、辞書で引いてみた。①負けること。敗北。②値段を安くすること。また、その代わりの景品。おまけ。とあった。そういえば、「これ、まけてよ。」と小さいときから使っていた。ますます、人に話せなくなった。えーっ、ここは恥を忍んで、清水の舞台から飛び降りたつもりで、そんな大げさな、と思ってこの文章を書き出した。

おまけというと、我々の年代は「グリコのおまけ」を思い出す。今の子どもが見るとすぐ捨てられそうなつくりだったが、自動車、船、飛行機、いろいろなものが入っていた。これらを集め、同じものは交換する。人の家の縁側や公園（そんな立派なものはないか）、広場で遊んだのを思い出す。今思うと、結構熱中して遊んでいた。年月が過ぎ、たまたま開けた箱の中に以前集めた「おまけ」が入っていて、懐かしがって遊んだこともあった。その多さに驚くとともに、「おまけ」につられよく買ったものだ、と改めて驚いた。

朝会だけでなく集まるところでよく「あいさつ」について話をする。私だけに限らず、先生方みんなが、外部指導者の方々もあいさつについてはよく話や指導をしてくれる。私は日頃からあいさつというものは、人間関係をスムーズにする潤滑油のようなもの、あいさつは待つてするものではなく自分からするもの、だと思っている。柏原中学校をあいさつであふれる学校にしたい。最近、赴任した4月の頃と比べて、廊下などであいさつする生徒が増えたように思うのだが……。

おまけは、なんか得した気分になる。「あいさつ」にも「おまけ」が付けられないか。あいさつのおまけ、って何があるか。そうだ、「おはよう、今日も元気だね」「おはよう、今日も部活ご苦労さん」「おはよう、(ニコ)」……。普通のあいさつに何か一言プラス、笑顔をプラス、おまけを付ける。生徒はどんな気分になるのだろう。得したとは思わないだろうけど、ちょっとでもいい気分になってくれればいいと思う。「おまけ」が、人間関係の潤滑油、それも滑りのいい油になればいいなとも思う。

➤家庭でも、「おまけ」を付けてみてはどうでしょう。すぐには効果が出ない「おまけ」でも、振り返ったとき、すごい『おまけ』になっているかも知れません。